

# 目次

序

矢野のあゆみ……………一

## 〔社会編〕

### 第一章 都市化の進展と行財政の変化

第一節 都市化の進展……………一五

1 企業誘致……………一五

2 農業の衰退……………一七

3 都市化の進展と住民構成の変化……………一七

4 水産業……………二〇

5 矢野町総合開発計画……………二三

第二節 行財政の変化……………二三

1 都市的諸機能の整備……………二三

2 行政機構の変化……………二九

3 財政の変化……………四一

4	住民の反応	四
	第二章 学校教育と社会教育	
	第一節 就学前教育	五一
1	就学前教育のあゆみ	五一
2	公立保育所における現在の保育活動	五四
3	私立幼稚園における幼児教育	五六
	第二節 学校教育	五九
1	小学校教育	五九
2	中学校教育	六九
	第三節 社会教育	八〇
1	公民館活動	八〇
2	社会体育	九二
3	その他の諸活動	一〇〇
	第三章 公園緑地など	
	第一節 観光と公園緑地	一七
1	概観(観光)	一七
2	現在までの展開	一九
	第二節 絵下山森林公園計画など	二三

1	絵下山森林公園計画について	一三三
2	公園緑地計画	一二九
第四章 社会生活		
第一節 社会組織と地域区分		
1	社会組織への関心	一三五
2	いくつかの地域区分	一三九
第二節 各種建造物・施設など		
1	記念碑、社寺	一四四
2	役所など	一五三
3	公益・公共施設など	一五六
4	橋、井戸など	一六一
第三節 他地域との関係		
1	交通関係	一六六
2	経済関係	一七二
3	社会関係	一七七

〔地誌編〕

第一章	自然的基礎と歴史地理
-----	------------

第一節 自然的基礎……………	一八三
1 地 形……………	一八三
2 水 系……………	一八七
3 災 害……………	一九〇
4 地域の自然的つながり……………	一九三
第二節 郷土の歴史地理……………	一九七
1 矢野川と瀬野川……………	一九七
2 矢野と海田の境界……………	二〇二
3 村の変化のなかで（その一）……………	二〇四
4 村の変化のなかで（その二）……………	二一〇
第三節 地名を考える……………	二二四
1 ヤノおよび字 <small>あざな</small> の存在……………	二二四
2 自然的条件から……………	二二七
3 社会的条件から……………	二三四
第二章 生産活動……………	
第一節 第一次産業……………	二三三
1 農業・畜産業……………	二三三
2 牡蠣の生産をめぐる……………	二三七

第二節 進出企業と在来産業	二四二
1 戦後の日本経済の発展	二四二
2 矢野町内への進出企業	二四三
3 伝統産業	二四四
第三節 金融機関	二五七
第三章 交通と通信	
第一節 交通路	二六三
1 交通路と集落	二六三
2 通過道と生活道	二七〇
3 新県道の建設	二七六
第二節 交通と通信	二七九
1 鉄道交通	二七九
2 道路交通	二八七
3 通 信	二九四
第三節 交通上の諸問題	三〇〇
1 旧県道から新県道へ	三〇〇
2 歩行者の交通	三〇三
3 交通安全	三〇八

4	交通路の形成をめぐる	三三
	第四章 住民のくらし	三一
	第一節 人口の概要	三三
1	分布と変化	三三
2	年令別・産業別構成	三七
3	移    動	三一
	第二節 人口の社会構成と居住	三五
1	人口の社会構成	三六
2	住居と家族の人員構成	三九
3	団    地	三四
	第三節 社会生活	四八
1	上水道、電力	五〇
2	ご    み	五三
3	し    尿	五八
4	死亡について	六三
	第四節 風土の一断面	六六
1	牡蠣船余聞	六九
2	社会環境の点描	七三

3 いくつかの社会・経済的な動向……………三七七

## 第五章 風土の考察

第一節 矢野に対する認識と思考……………三七七

1 社会的推移のなかで……………三六七

2 時間的推移のなかで……………三九〇

3 地番の設定……………三九四

第二節 土地利用の変化および諸計画……………三九九

1 土地利用の変化……………三九九

2 消防・防災計画などの面で……………四〇三

3 環境衛生関係の面で……………四〇九

第三節 開発への方向づけ……………四二二

1 アンケート調査（昭和四六年）から……………四二二

2 新用途地域について……………四三三

3 レクリエーションのコースなど……………四三五

4 地番の改廃について……………四三一

## 〔付 編〕

方 言……………四三七

補遺……………四五三

あとがき……………四八七